

グラフで見る東海経済(2021年5月)

2021年5月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調

【今月のポイント】

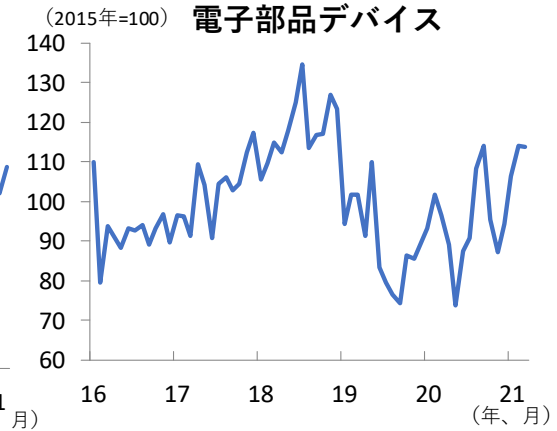
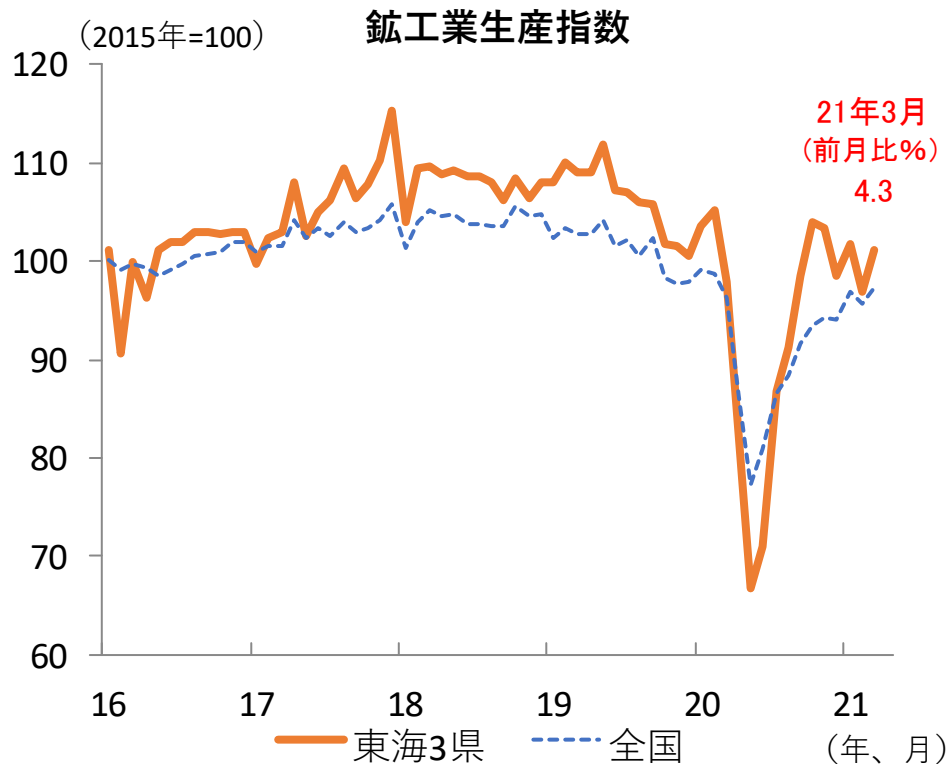
- 3月の鉱工業生産(東海)は前月比+4.3%と2ヶ月ぶりに増加したが、足踏み状態
- トヨタの国内生産は、半導体不足が懸念されるものの、持ち直しが見込まれている
- 実質輸出は3月は増加に転じた。先行きについても持ち直しが見込まれる
- 雇用は弱い動きが続く中、求人倍率は悪化に歯止めがかかっている
- 財の消費を示す小売売上(6業態計)は、3月は前年比ではプラスとなったが、個人消費の基調は弱い

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調
生産	足踏み状態
輸出	持ち直している(↑:足踏み状態)
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱含んでいる
住宅投資	横ばい
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向と前月判断

生産

3月の鉱工業生産(東海)は前月比+4.3%と2ヶ月ぶりに増加したが、水準はまだ低めで足踏み状態。業種別では輸送機械、電気機械などが増加した。前年比では+6.5%だが、一昨年比では-1.8%となっている。

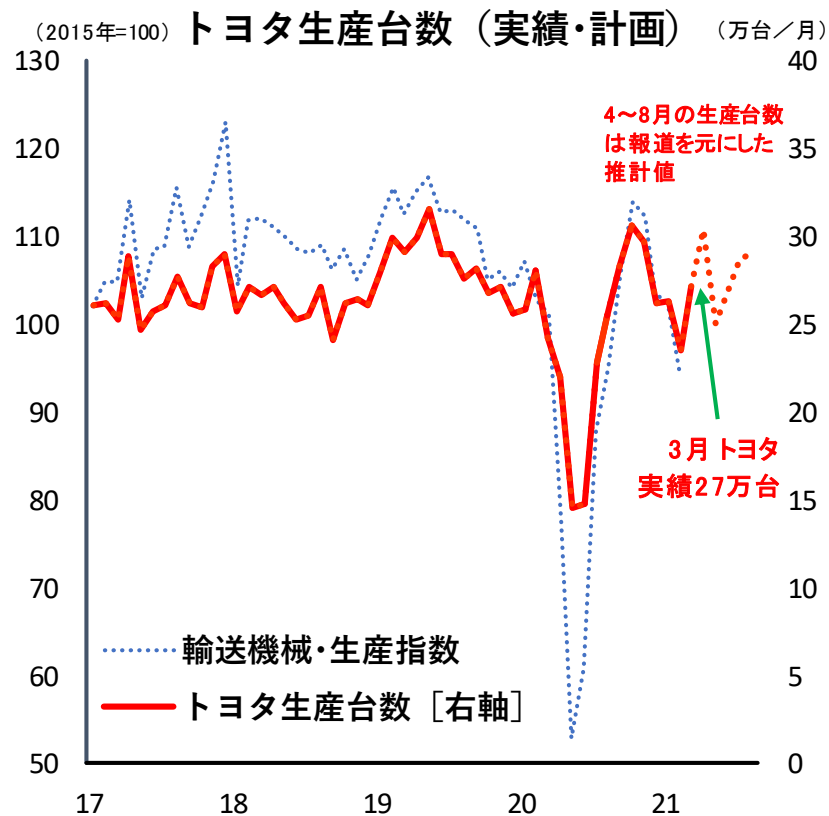


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

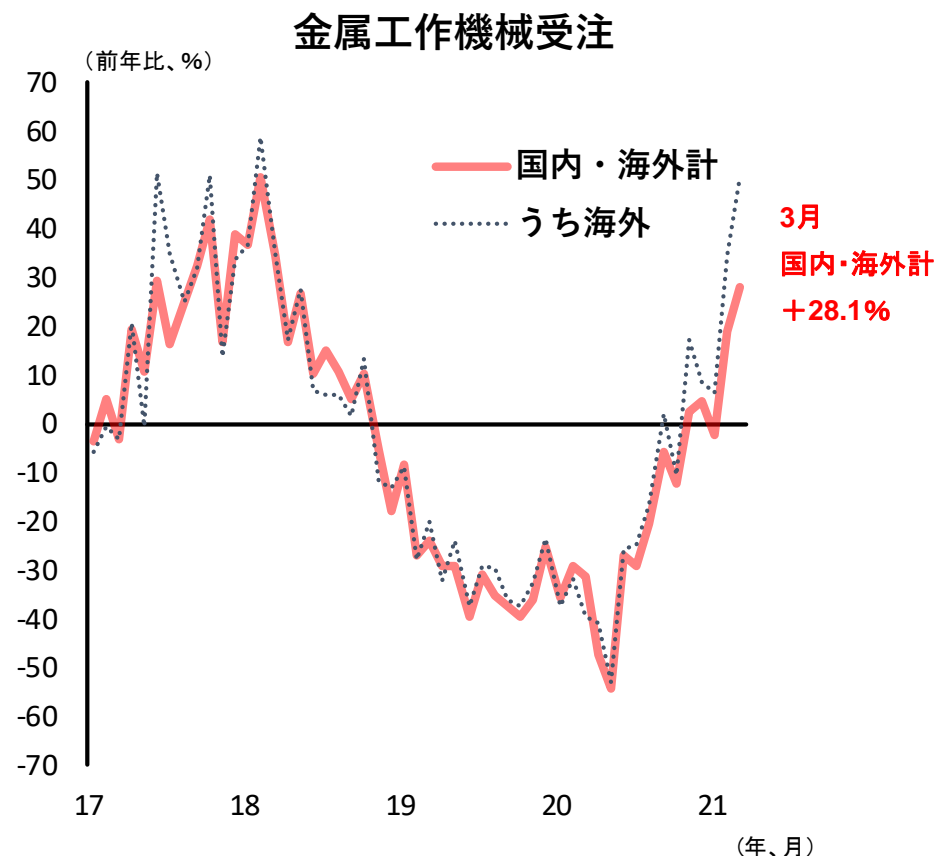
生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

3月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は27万台と前月から増加した。先行きについては、半導体不足が懸念されるものの、持ち直し基調が見込まれている。

3月の金属工作機械受注は、前年比+28.1%と2ヶ月連続で前年を上回った。国内向けは同-5.1%と28ヵ月連続で減少したが、海外向けは同+50.6%と大幅増。中国向けが同+116.8%と大幅に増加した。



(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県
(出所)中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞

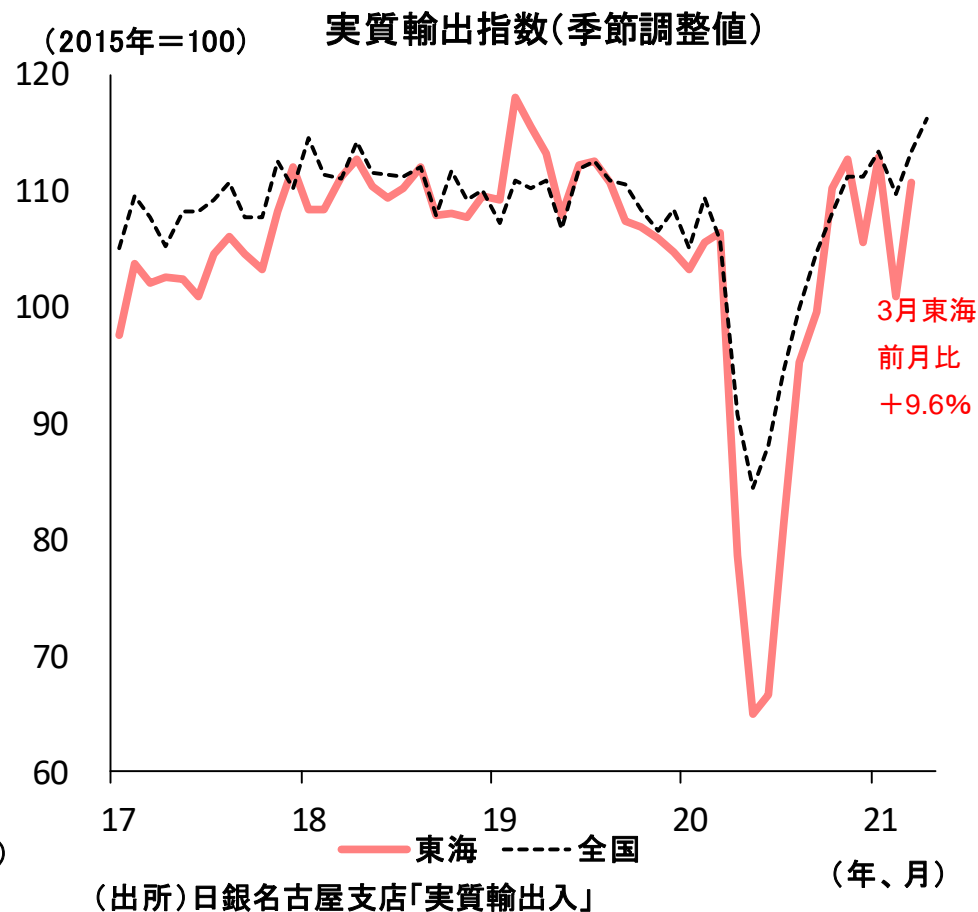
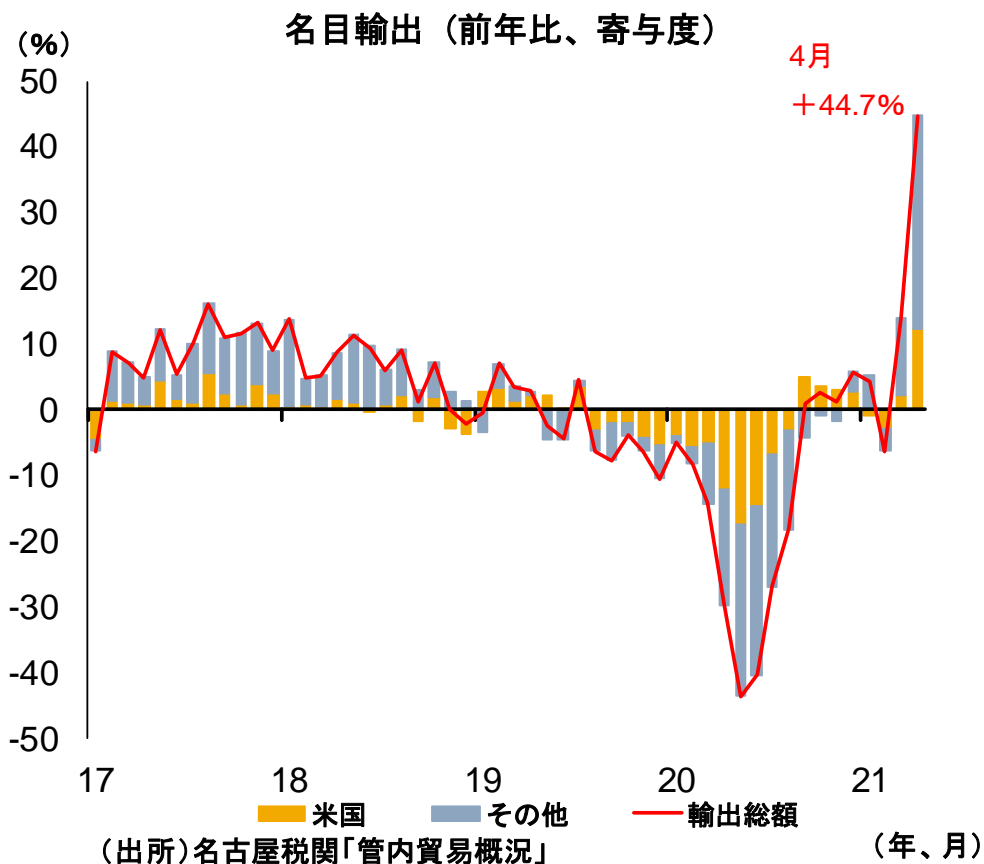


(出所)中部経済産業局「金属工作機械受注」

輸出

4月の名目輸出額は、前年の水準が低かったこともあって、前年比+44.7%と2ヶ月連続で大幅増(一昨年比では+1.6%)。地域別では米国、アジア、EUなど主要地域向けが、品目別では自動車部品、自動車などが増加した。

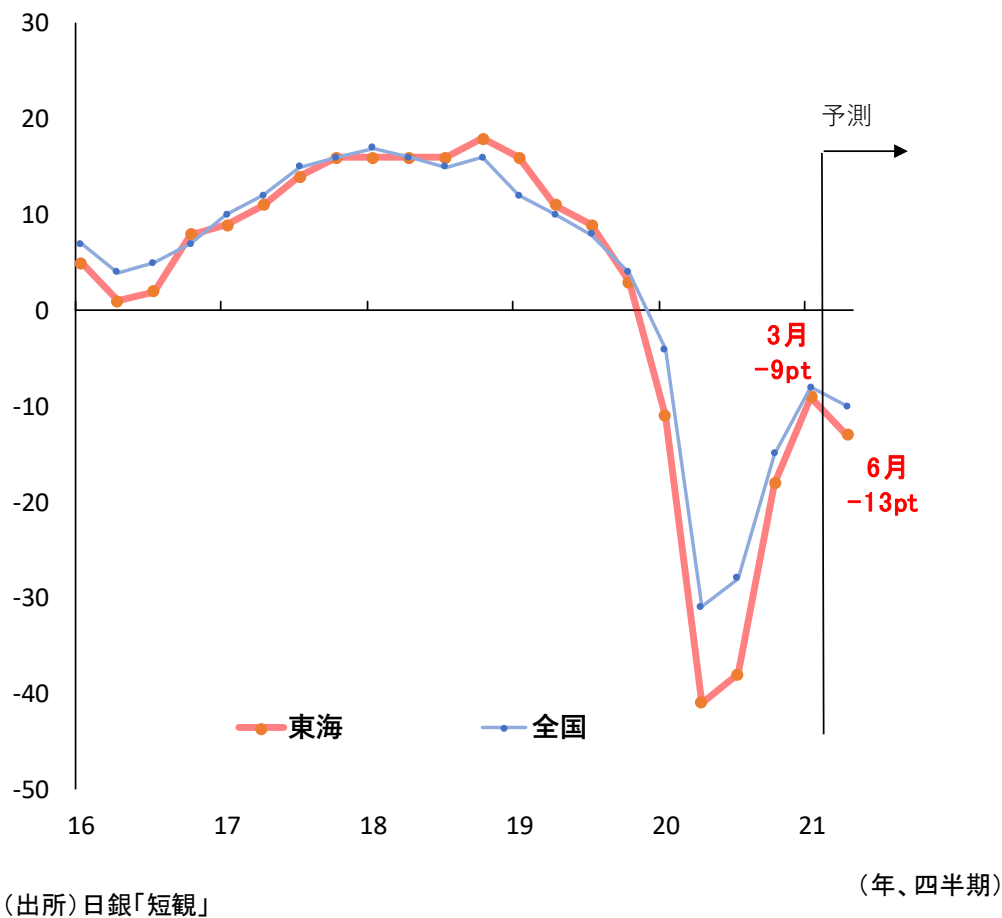
3月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+9.6%と2ヶ月ぶりに上昇した。



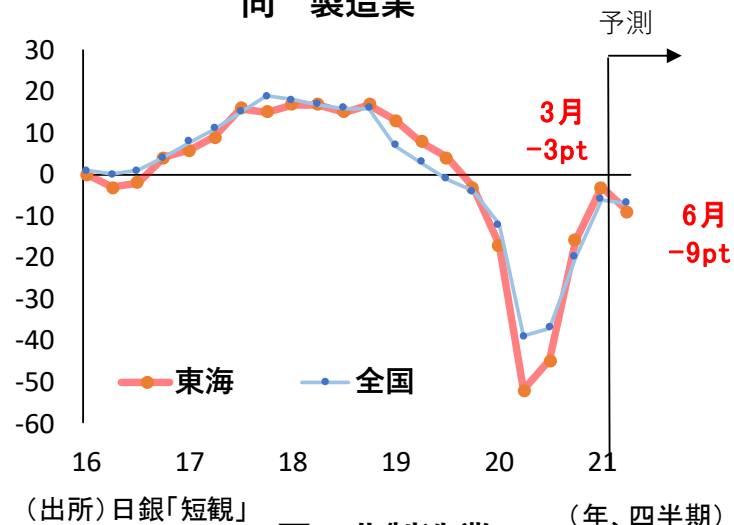
企業景況感(日銀短観) ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査の業況判断DIは全産業で-9ptと、12月調査から改善した。製造業は-3pt、非製造業が-17ptと改善した。先行きは、製造業で悪化、非製造業で横ばいが見込まれている。

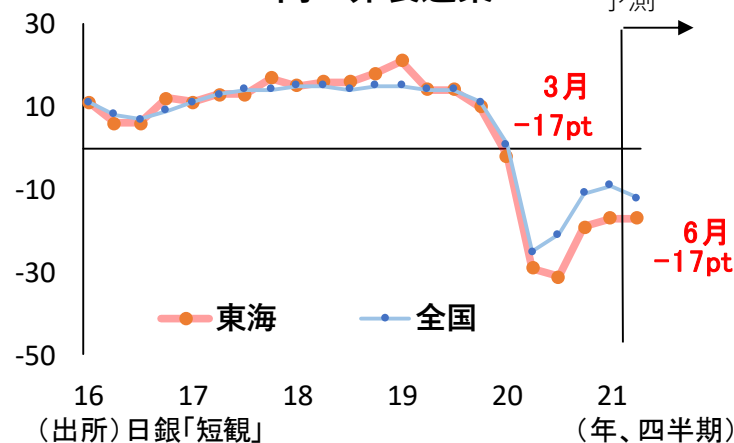
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

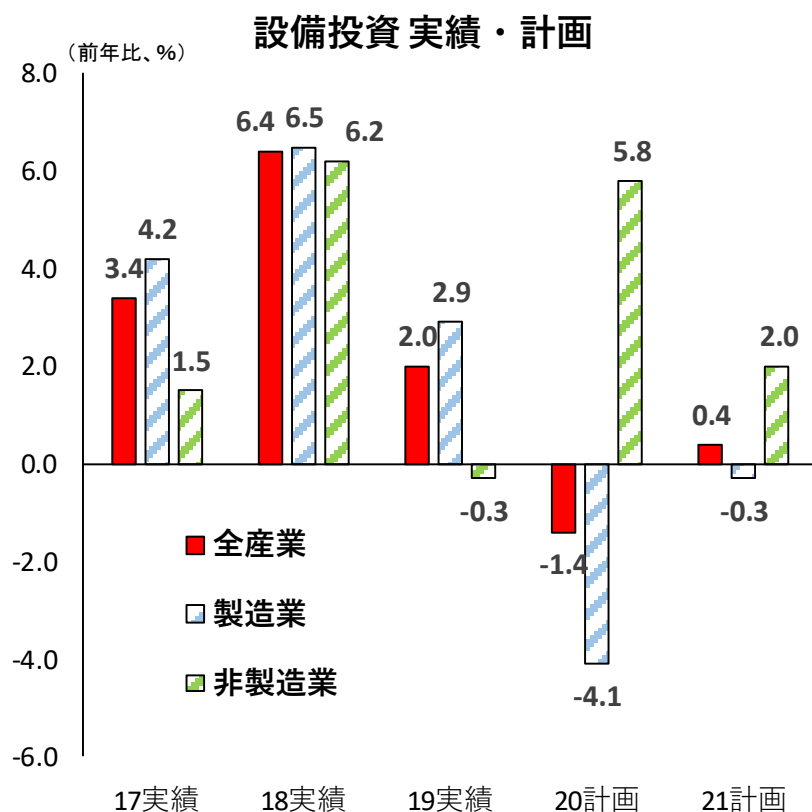


同 非製造業



設備投資 ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査によると、20年度の設備投資は、製造業が前年比-4.1%、非製造業は同+5.8%、となる見込み。全産業では同-1.4%と12月調査から上方修正。21年度は、製造業が減少、非製造業が増加となり、全体では増加の計画。対個人サービスが大幅減となる一方、不動産が20年度に続き大幅増の計画となっている。



設備投資額（前年比%）

	19年度 実績	20年度 計画			21年度 計画
		今回	12月調査時 [差異]		
全産業	2.0	-1.4	-2.2	0.8	0.4
製造業	2.9	-4.1	-4.0	-0.1	-0.3
非製造業	-0.3	5.8	2.8	3.0	2.0

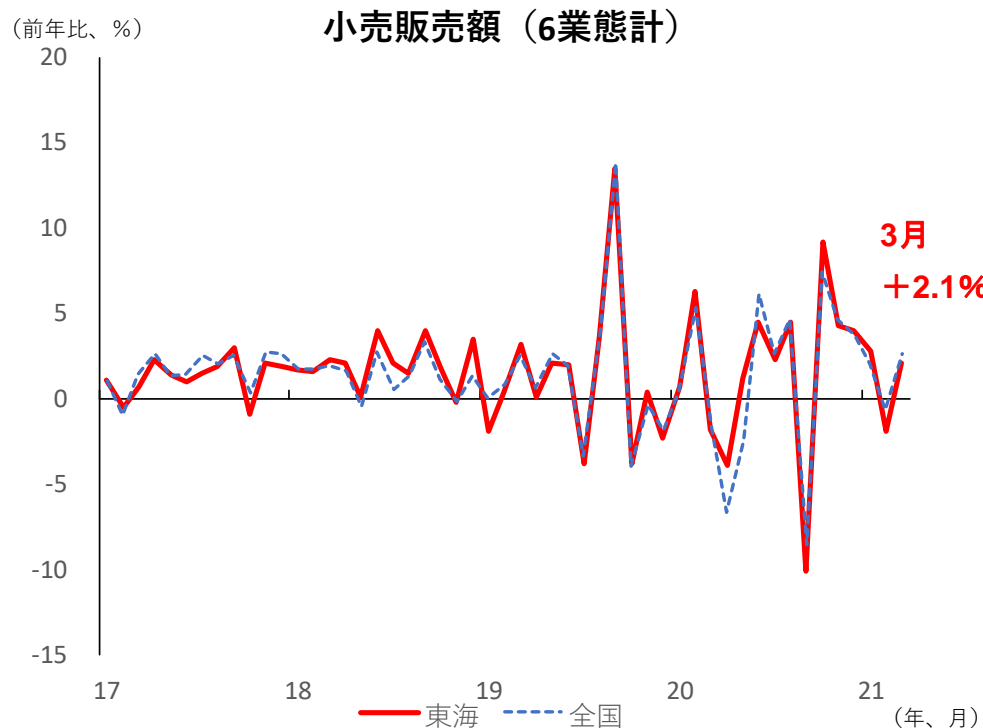
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

個人消費(小売売上、自動車販売)

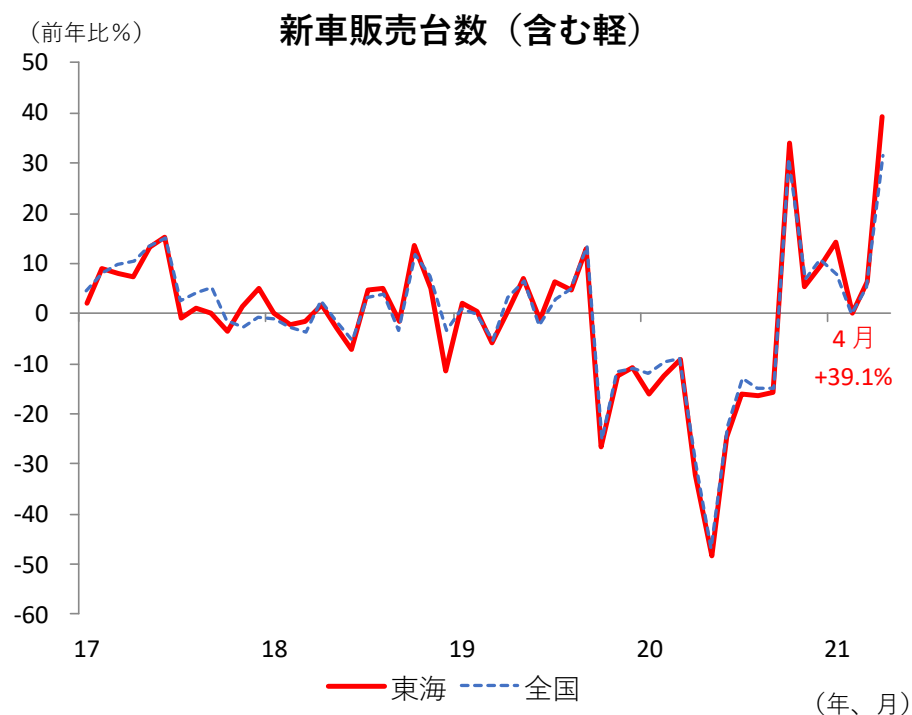
3月の小売販売額は前年比+2.1%と2ヶ月ぶりに増加した(一昨年比では+0.3%)。百貨店、家電などの前年水準が低かったことが影響した。

4月の新車販売は前年の水準が低かったこともあり前年比+39.1%と大幅に増加したが、一昨年比では-5.2%。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

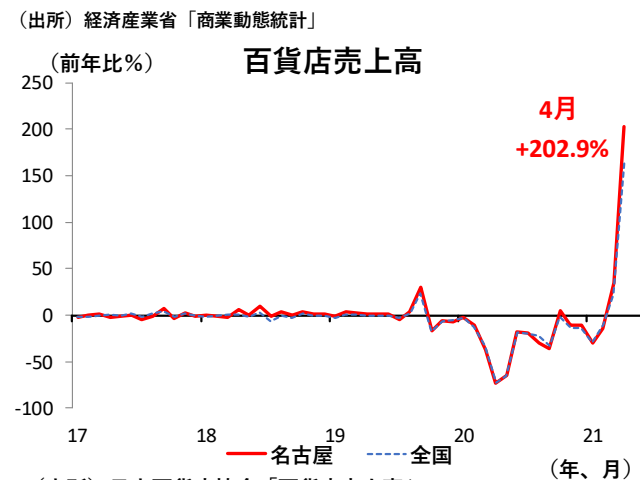
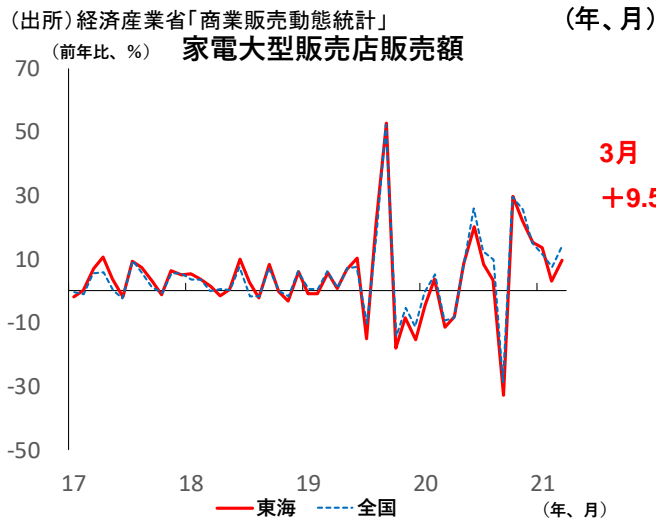
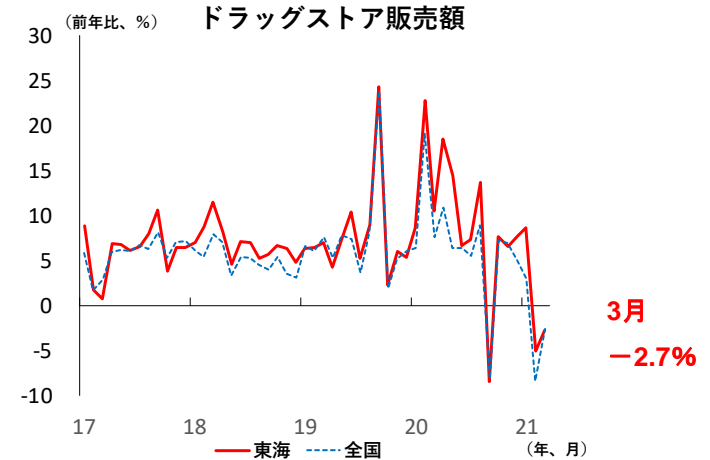
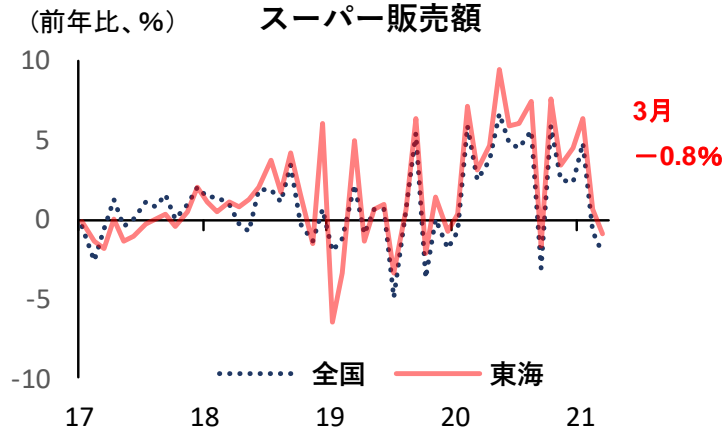
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

東海の小売販売額(3月)を業態別に見ると、家電販売店は増加したが、スーパー、ドラッグストア等は減少した。4月の百貨店売上(名古屋)は前年比+202.9%と2ヶ月連続で大幅増。前年同月がコロナ禍で低水準であったため前年比では大幅増となったが、一昨年比では-18.9%減と低水準。



(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

(注) 店舗調整後前年比

マインド・景況感

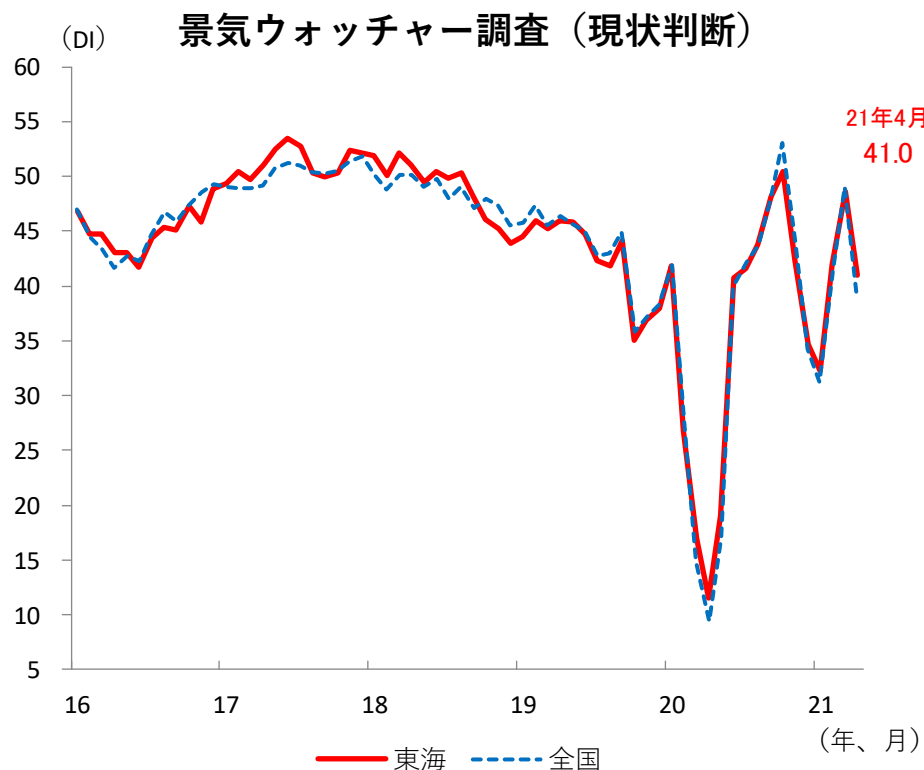
4月の消費者態度指数は35.4(前月差-2.0%pt)と3ヶ月ぶりに低下した。

4月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、41.0(前月差-7.6%pt)と2ヶ月ぶりに低下した。新型コロナウイルス感染症再拡大、まん延防止等重点措置の当地への適用、他地域での緊急事態宣言の発令などが景況感の悪化につながった。



(注)東海の季節調整値はMURC試算

(出所)内閣府「消費動向調査」



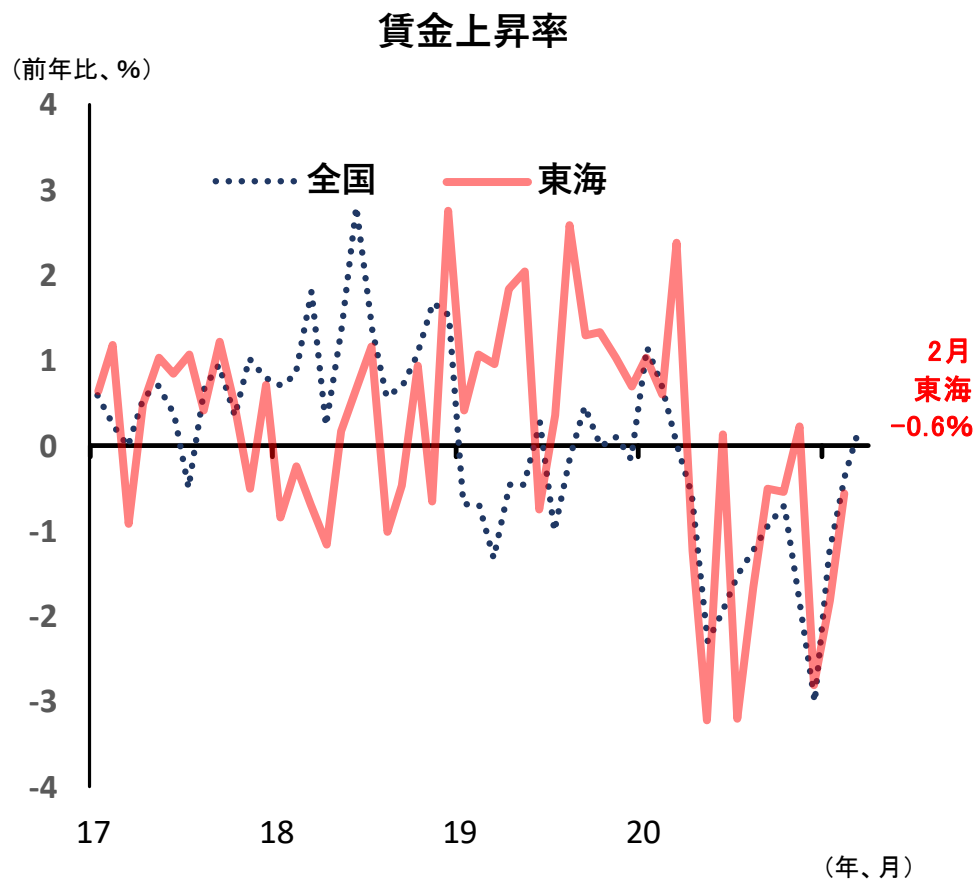
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

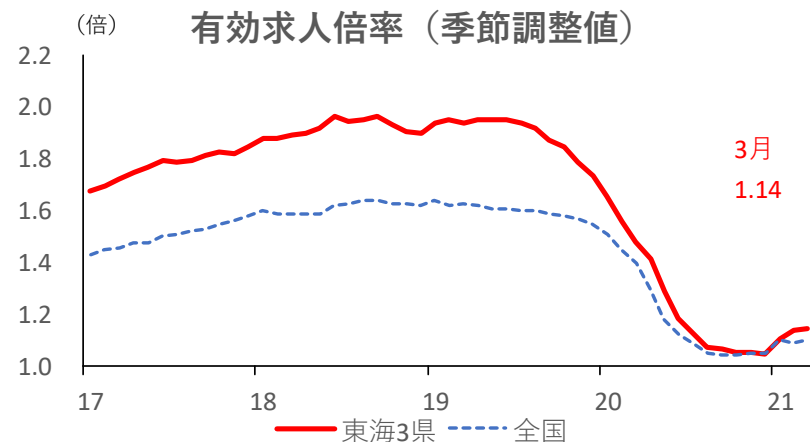
2月の名目賃金指数は、前年比-0.6%と3ヶ月連続で低下した。

3月の求人倍率は1.14と前月と同水準。求人数、求職者数ともに増加した。

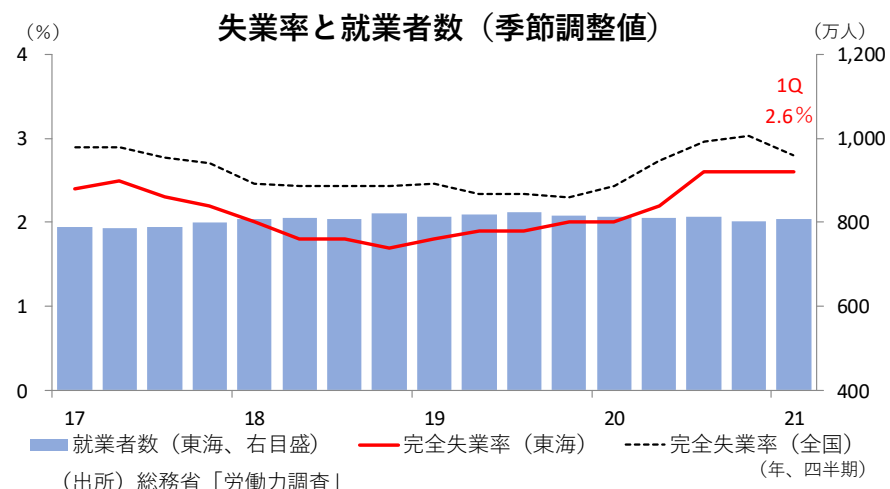
21年第1四半期の失業率は2.6%と横ばい。就業者数は小幅増加した。



(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

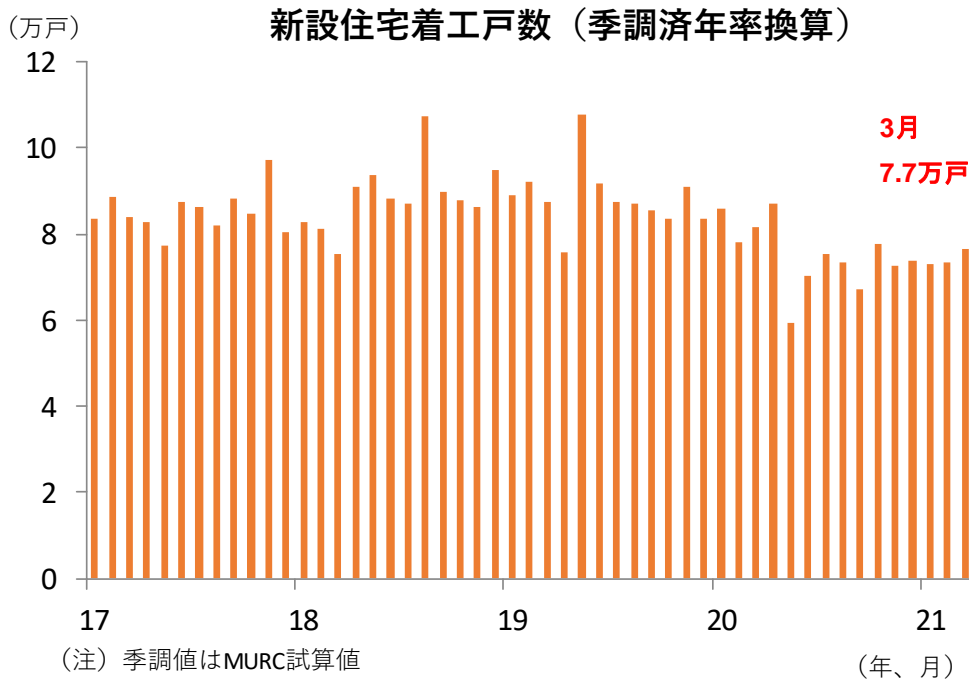


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

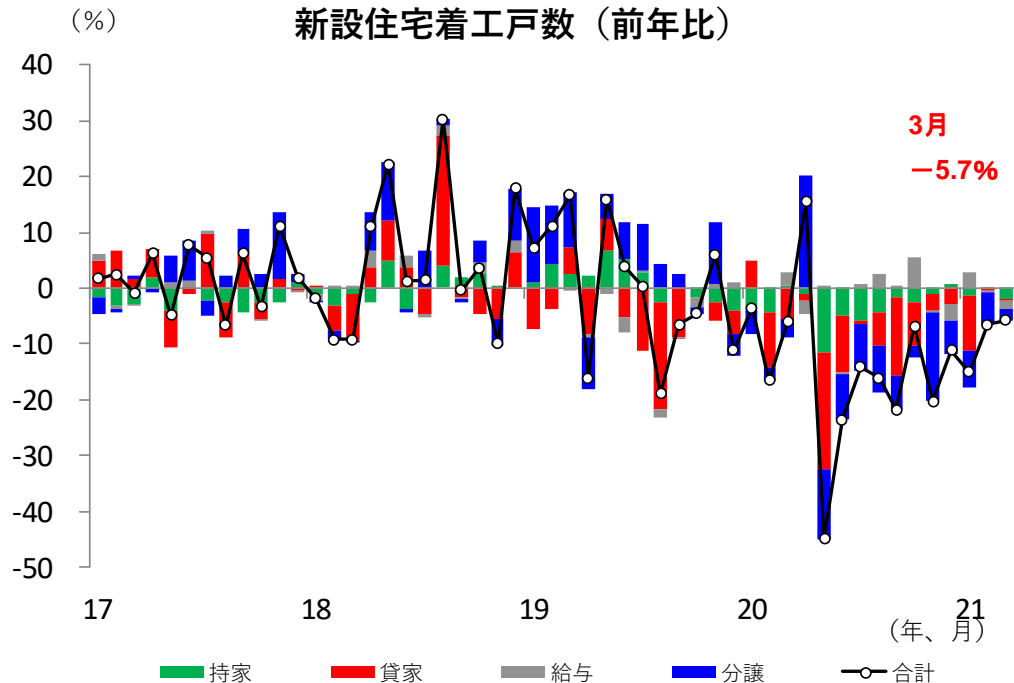


住宅投資

3月の住宅着工は季調・年率で7.7万戸と前月とほぼ同水準。原数値では前年比-5.7%と11ヶ月連続で減少した。持家、貸家、分譲が減少した。



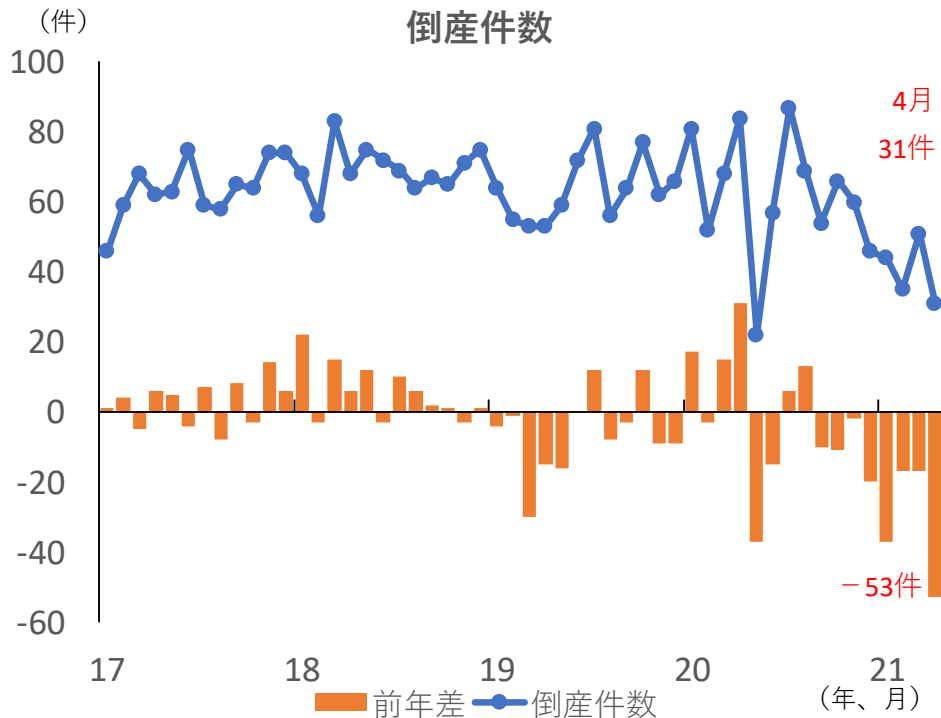
(出所) 国土交通省「建築着工統計」



(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

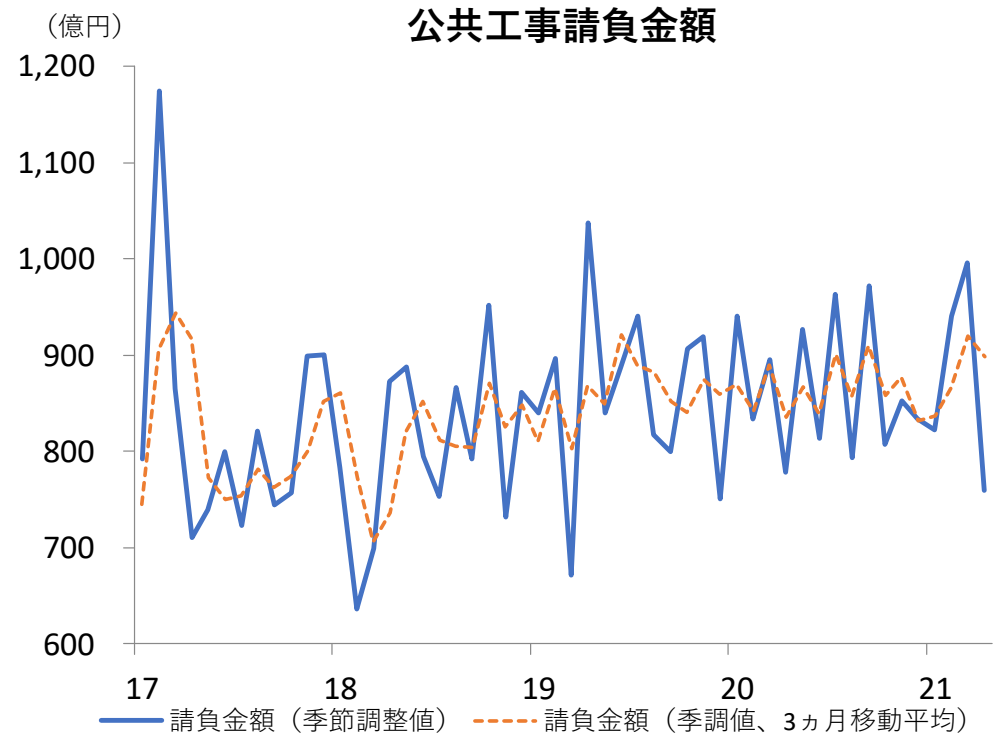
4月の倒産件数は前年差で8ヶ月連続で減少。
件数は、低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください